

# 令和7年度 全国学力学習状況調査の結果

京都市立太秦中学校

4月16・17日に、本校3年生を対象に実施された「全国学力学習状況調査」についての結果分析を御報告します。本調査は従来型の紙を使用したテストを国語・数学で、一人一台端末を使用したテストを理科で実施しました。また、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されております。

## 【総合結果】

令和7年度は【国語】と【数学】、【理科】の調査が実施されました。【国語】と【理科】京都府平均正答率および全国平均正答率並みでした。【数学】では京都府平均正答率及び、全国平均正答率を下回る結果でした。それぞれの教科で見られた成果や課題などを以下にまとめました。

## 【国語科より】

「知識及び技能」では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」において正答率が全国平均を上回っていました。日々の漢字の学習や語句の意味を覚える学習を今後も継続して行なっていきます。

「思考力、判断力、表現力等」では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」は全国平均を上回りましたが、「読むこと」は全国平均を下回る結果となりました。文章全体や部分における構成や展開を把握した上で、なぜそのような構成や展開になっているのか、またその効果を考え、自分なりに意味づけをしていく活動を授業でも取り入れ、読む力の育成を図っていきたいと考えます。

## 【数学科より】

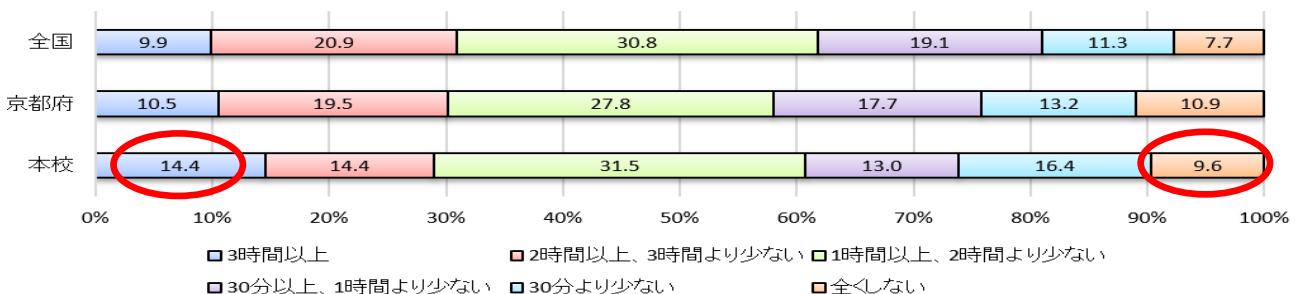
平均正答率が全国及び京都府を3ポイントほど下回る結果となった。特に「数と式」「図形」「関数」の領域において課題が見られた。「知識・技能」における基本的な計算問題に比べ、「思考・判断・表現」における証明問題に課題が見られた。ただ「データの活用」領域においては丁寧に指導をしてきたこともあり全国及び京都府と比べても数ポイント上回っている。今後、知識や技能を活用する問題に取り組む機会を増やしたり、記述式レポート等の課題を与えたりして、基礎知識の底上げや証明問題に慣れていくようにしたいと考えています。

## 【理科より】

全体的に、正答率としては、全国および京都府と比べ、0.1ポイント上回る結果となっていた。ただし、すべてが上回っていたわけではなく、下回っていたところは、「電流、電圧の関係をしっかりと確認できていない」、「呼吸をしているのは、生物全体であるということ」、「元素記号がしっかりと覚えられていない」「スケッチの方法が理解できていない」など、基本的なところがぬけている生徒がいるということがわかりました。そのあたりのことを、しっかりと学校で共有し、これから指導に役立てていきたいと考えています。

## 【生徒質問紙より】

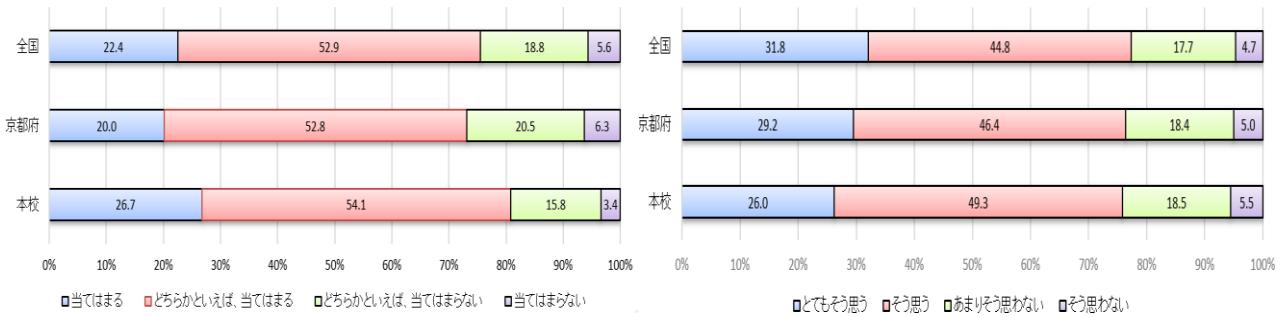
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(塾・家庭教師含む)



授業以外で「1日3時間以上勉強する」生徒の割合が、全国平均と比べて上回っている一方で、「全くしない」と答えた生徒の割合は、全国平均より多くなっています。学力(正答率)との相関関係で見ますと、「全くしない生徒」と10ポイント程度の大きな差がついています。

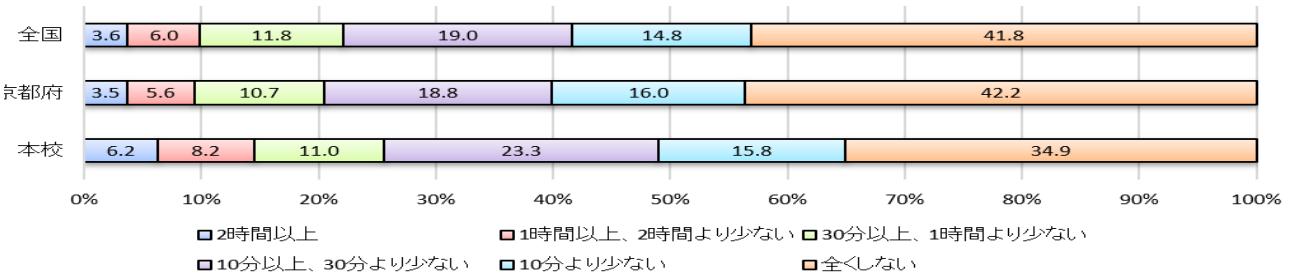
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校の発表の  
スライドを作成することができると思いますか



「地域や社会をよくするために何かしたい」生徒の割合が、全国平均と比べて上回っており、この太秦から将来の活躍する生徒が沢山出てくることが期待されます。しかし、一方でPCやタブレットなどのICT機器の活用にまだ自信がない生徒が全国と比べると多いようです。将来、ICT機器の利用は必要不可欠となります。今後、より一層ICT機器を活用した活動に力を入れていきましょう。

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、  
1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか



授業以外で「1日に読書をする」生徒の割合が、全国平均と比べて上回っています。本を読むことは「未来の自分への投資です。」読書は知識や考え方を広げ、将来の選択肢を増やしてくれます。また、なぜこの人はこのように考えているのかなど、論理的思考力も鍛えられます。ぜひ、朝読書の時間を有意義にしましょう。

## 【保護者の皆様へ】

全国学力状況調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力のすべてを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果には、ご家庭での子供に対する積極的な関りや指導・支援の成果が表れています。引き続き、子供たちの健やかな育ちと環境づくりにご協力をお願いいたします。